

赤十字だより ぎふ

Red Cross Gifu

発行日
平成30年10月1日 vol.44



編集・発行 **日本赤十字社 岐阜県支部**
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島 2-9
TEL 058-272-3561
<http://www.gifu.jrc.or.jp/>

赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています

災害に備えて救援車や救護資材を配備

8月27日(月)に日本赤十字社岐阜県支部において、災害救援車や救護資材の引き渡し式を開催しました。

災害救援車は、災害時における救援物資の輸送などに使用するほか、平時においても福祉等の赤十字活動のために活用していただいている、今回、海津市地区に更新車両として配備しました。また、災害時や様々な現場にて活用していただく救護資材を各市町村に配備しました。

救護資材：災害用移動炊飯器

簡易テント

災害救援物資倉庫



● 赤十字講習会のご案内 [平成30年10月~12月版]

講習の種類	開催日	会場
救急法基礎講習	12月2日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
救急法救急員養成講習	12月9日(日)・16日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
救急員資格継続研修	11月25日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
すぐすぐ子育てサポート講習(短期)	10月20日(土) 11月10日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室 岐阜赤十字病院 南館2階講堂
健康生活支援講習支援員養成講習	10月10日(水)・11日(木)・17日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階中会議室
災害時高齢者生活支援講習(短期)	12月4日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂
こころとこころの架け橋講習(短期)	10月11日(木) 12月5日(水)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階会議室 岐阜赤十字病院 南館2階講堂
癒しのハンドケア(短期)	11月6日(火)	日本赤十字社岐阜県支部 2階中会議室
リラクゼーション(短期)	11月7日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階中会議室
こころのケア研修	10月18日(木)	高山赤十字病院 3階大講堂

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字社岐阜県支部ホームページでご覧いただけます。

※詳しい内容については、事業推進課までお問い合わせください。

● イベントのお知らせ

今年も赤十字を知つもらう広報イベント「赤十字フェア」を開催いたします。

- 中濃会場：とき／10月14日(日) 場所／関市文化会館（市民健康福祉フェスティバル）
- 東濃会場：とき／10月27日(土) 場所／多治見市総合福祉センター（ふれあい福祉まつり）
- 西濃会場：とき／11月11日(日) 場所／イオンタウン大垣 セントラルコート
- 【内容】 赤十字活動紹介パネル展示・ちびっ子記念撮影会（救護服、ナース服を着て）等



● 義援金・救援金の受付状況 (平成30年8月31日現在)

義援金名	受付金額	受付期間
東日本大震災義援金	2,092,726,062	平成23年3月14日～平成31年3月31日
平成28年熊本地震災害義援金	204,325,922	平成28年4月15日～平成31年3月31日
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	16,518,616	平成29年7月7日～平成30年9月28日
平成30年大阪府北部地震災害義援金	373,360	平成30年6月22日～平成30年9月28日
平成30年米原市竜巻災害義援金	239,197	平成30年7月6日～平成30年9月28日
平成30年7月豪雨災害義援金(広域)	3,605,700	平成30年7月10日～平成30年12月31日
平成30年7月豪雨災害義援金(県内)	113,240,473	平成30年7月11日～平成30年9月28日
中東人道危機救援金	100,372	平成27年4月1日～平成31年3月31日
バングラデシュ南部避難救援金	70,401	平成29年9月22日～平成31年3月31日

※義援金・救援金については、受付開始から平成30年8月31日入金分までの合計となっています。

平成30年7月豪雨災害に対する岐阜県支部の活動

平成30年7月の豪雨災害に対し、以下のとおり被災地へ職員を派遣しました。
7月21日(土)～25日(水) 岐阜赤十字病院救護班7名と岐阜県支部連絡調整員2名を広島県呉市へ派遣
呉市安浦地区の安浦まちづくりセンターで救護所の運営や、避難されていない地域への巡回診療などの救護活動を行いました。
8月5日(日)～11日(土) 高山赤十字病院こころのケア要員4名を広島県呉市へ派遣
呉市内5つの地区にて被災者のストレスを軽減させるために、話を聴いたり、リラクゼーションやハンドケアなどの「こころのケア」活動を行いました。

CONTENTS

- 日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します▶▶2
- 赤十字施設の活動を紹介します▶▶3
- 赤十字講習会のご案内(10月～12月分) ▶▶4
- イベントのお知らせ▶▶4
- 義援金・救援金の受付状況▶▶4

日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します

国際交流～モンゴルメンバーを迎えて～

毎年、モンゴル国の青少年赤十字メンバーと岐阜県、愛知県の青少年赤十字メンバーが国際交流を行っています。今年は、モンゴルから8名のメンバーが7月4日(水)から11日(水)まで訪日しました。その期間中、愛知県美浜少年自然の家で、岐阜県(2名)と愛知県(9名)の青少年赤十字メンバーが、モンゴルのメンバーと国際交流を行いました。自然の家では、英語でコミュニケーションをとりながら懇親会や海辺でサンドクラフトを行うなど楽しく交流を行いました。また、モンゴルのメンバーは、岐阜を訪れ、ロープウェイに乗車して山頂の岐阜城に登り、そこから見る岐阜市の風景に感動し、とても大きい街だとびっくりしていました。その他、各務原航空宇宙博物館を見学し、岐阜を満喫していました。



子ども新聞～震災を後世に語り継いでいこう～

7月14日(土)から16日(月)の3日間、岐阜県青少年赤十字メンバーの小学校6年生2名が、愛知県と三重県のメンバーと共に、子ども新聞記者として“阪神・淡路大震災”や“熊本地震”について取材をしました。

このプロジェクトは、朝日新聞社と協力し、取材、編集、発行するという新聞作り体験を通して、「気づき・考え・実行する」能力を育むことを目的としており、今年で7回目の開催となります。

被災された人々が復興に向けて頑張っている姿や話を、各訪問先で見たり聞いたりすることにより、多くの事に気付き、自分たちは何をすれば良いかを考え、いざという時にどのように実行すると良いかをじっくりと考え、夜遅くまで記事作成をしていました。

これら取材した記事は、朝日新聞社から「子ども新聞」として、9月11日(火)に青少年赤十字加盟校に配布されました。



▲熊本地震の取材で訪れた熊本城にて

研修をおして次代のリーダーを育成

夏休みに、「リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）」を開催し、小・中・高校生のメンバーが、人道やリーダーシップ、防災等について学びました。また、先生方を対象とした指導者養成講習会（8月8日(水)）では、防災・減災センター 岐阜大学特任教授 村岡 治道氏による「身の回りの危険チェック～自然災害編～」をテーマに、どう行動すると災害時に自分の身を守ることができるのかの講演と、高山赤十字病院 白子 順子医師による、海外での救援活動や学校現場における熱中症対策、体調管理等の普段聞くことのできない貴重なお話を聞いていただきました。

○高校トレセン（7月24日(火)）では、国際救援活動や献血の必要性について講話を聞き、癒しのハンドケアを体験してもらいました。また、昼食には、防災食（フリーズドライ、缶詰）を食べてもらいました。「初めて食べたけど美味しかった。」など好評でした。

○支部トレセン（8月1日(水)）では、岐阜地方気象台による気象実験や災害用炊飯袋「ハイゼッカス」を使用した防災食づくり、防災カルタなど、体験をおして防災について学びました。また、岐阜県赤十字血液センターでは、献血や血液について学び、献血の重要性を知りました。



▲高校トレセン



▲支部トレセン

学校（園）にテントを贈呈

防災対策の強化や学校行事に活用していただくことを目的に、平成28・29年度に青少年赤十字に新規加盟した小中学校、高校、幼稚園など40校にワンタッチテント（3m×3m）を贈呈しました。

7月18日(水)に加盟校を代表して、岐阜希望が丘特別支援学校にて贈呈式を行い、大変喜んでいただきました。



▲野中事務局長から目録を受け取る生徒

赤十字施設の活動を紹介します

高校生が体験学習（高山赤十字病院）

8月1日(水)に飛騨地域の5つの高校から99名の生徒が参加し、病院体験学習が行われました。医師、薬剤師、臨床検査技師など11職種に分かれて様々な体験をしました。

医師の体験グループでは、ICUや手術室など普段入ることのできない場所を見学したほか、模型を使った胃カメラ操作体験などを行いました。生徒からは、「大変なこともあるが、楽しさも教えていただいた。」「将来働いてみたいと感じた。」「必ず医師になって、医療に貢献したい。」などの意見が聞かれました。体験した生徒それぞれが進路の参考として、働く現場に触れられる貴重な体験となったようです。



〒506-8550 高山市天満町3-11 電話：0577-32-1111(代表)

平成30年7月豪雨災害における救護活動について（岐阜赤十字病院）

当院では、岐阜県支部の命により、7月21日(土)～25日(水)の期間、広島県に救護班を派遣しました。

救護班は同県吳市安浦地区に開設された避難所「安浦まちづくりセンター」に派遣され、センター内に設置された救護所や安浦地区的巡回診療を行いました。

救護班は、「安浦まちづくりセンター」を拠点として活動し、救護所で活動した3日間で延べ39名の診療にあたり、患者は避難所の近隣の方が多く、全体の半数以上を占めていました。

患者の主な症状は、被災した自宅の整理の際に切り傷や擦り傷をした被災者や熱中症の疑いで診察を受けに来る患者や避難所生活の疲れによる疾患が多く、医師や看護師は、被災者の話に寄り添いながら診療にあたりました。

また、救護所での診療の他、地元支援のために派遣されている他県の保健師と共に、安浦地区や周辺の5地区43世帯の家々に巡回診療を行いました。

救護班が巡回した地区には、いまだ道路に土砂や流木が残っている箇所が多くあり、その地区で生活されている住民の健康状態や住環境などのアセスメントを行いました。

我々救護班が現地で活動したのは数日ですが、被災者の方々はまだまだ支援が必要な状況です。今後もニーズに応じた支援が行われることを希望し一刻も早く被災者の皆様が元の生活を送れることを願っています。



▲救護班による巡回診療の様子

〒502-8511 岐阜市岩倉町3-36 電話：058-231-2266(代表)

新岐阜献血ルーム「開設20周年キャンペーン」開催！（岐阜県赤十字血液センター）

《平日限定》けんけつちゃんスプーンプレゼント！

平成30年8月、新岐阜献血ルームは、開設から20周年を迎えることができました。

皆さまへの日頃の感謝を込めて「新岐阜献血ルーム開設20周年キャンペーン」を開催しています。

下記期間中の月～木曜日、献血にご協力いただいた方に

「ステンレス製けんけつちゃんオリジナルスプーン」を1本進呈します。

この機会に、ぜひ献血にご協力お願いします！

【開催期間】平成30年10月1日(月)～12月27日(木)

※金、土、日、祝日及び年末を除く平日限定。

※数量限定のため、なくなり次第終了となります。

【開催場所】岐阜県赤十字血液センター新岐阜献血ルーム

〒500-8175 岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5F

TEL:058-264-2122 (金曜日を除く10:30～18:00)



▲ホームページはこちらから！

